

船舶事故等調査報告書

平成22年10月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第243号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年9月21日（月・祝日）15時00分ごろ	
発生場所	愛知県名古屋市名古屋港高潮防波堤中央堤西灯台から真方位307° 1, 870m付近 （概位 北緯35° 01.2′ 東経136° 47.1′）	
事故等調査の経過	平成21年9月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報</p> <p>モーターボート とびしま、5.95m（5トン未満） 240-14871愛知、個人所有 船長、二級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	船底に破口、上部構造物損傷、プロペラ損傷	
事故等の経過	本船は、船長が知人2人を乗せ、名古屋港内の筏川河口の係留地へ向けて航行中、係留地の手前が波立っていたため、漂泊して待機していたところ、南からの風に流され、水深約50～60cmの波よけ用捨石に乗り揚げた。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1、視界 良好 海象：多少波があった、潮汐 上げ潮の初期</p>	
その他の事項	<p>本船は、乗揚後、浸水により引揚げ不能となり、解体処分された。 船長は、事故海域の航行経験は40回程度あった。 全員が救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし 本船は、名古屋港内の筏川河口の沖で漂泊中、船長が、南からの風と上げ潮により、波よけ用捨石に向けて流されていることに気付かず、同捨石に乗り揚げた可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、名古屋港内の筏川河口の沖で漂泊中、船長が、風と上げ潮により、波よけ用捨石に向けて流されていることに気付かなかつたため、同捨石に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	